

“りぼんの会” NEWS



ご高齢者 介護問題

認知症は怖くない！認知症は改善する！

—認知症に向き合い、真剣に取り組むサービスりぼん花影町だからわかること

■症状を恐れ、どうしていいのかわからない家族…

厚生労働省の推計によると、2012年（平成24年）時点で462万人（高齢者の7人に1人）だった認知症の高齢者（65歳以上）は、2025年には1.5倍の700万人（5人に1人！）に上るそうです。

しかし、今現在も認知症に対する知識の無さから大切な親や祖父母への適切な対処ができず、症状を悪化させてしまったり、反対に己の身に降りかかってきて介護離職にまで追い込まれる働き手や、高齢者夫婦で頼れる人のいない「老老介護」、もっとひどくなると認知症同士で支え合う「認認介護」など、目も当てられない悲惨な末路が待ち受けている現実があります。

在宅介護へのシフトを急ぐ厚生労働省は、5ヵ年計画「オレンジプラン」をスタートさせたのですが、症状を十分理解してケアできる介護職も足りず実効性に乏しいのが現状です。

■社会問題にもなっていく認知症高齢者

単なる物忘れくらいならどこにでもある話で、他人にも迷惑をかけるようなものではありませんが、次のようなトラブルに発展してしまうと笑い話では済まされない状況となります。

(1) 徘徊等により自宅に戻れない。

場合によってはけがを負ったり、亡くなられてしまう事例も見受けられます。

(2) ゴミ屋敷、孤立死（孤独死）の増加

医療や介護を勧めても拒んだり、家にゴミを放置する状態はセルフネグレクト（自己放任）とも言われ、全国に1万人以上になり、孤立して孤独死するケースもあります。

(3) 高齢者虐待、介護殺人

介護者は、疲れや先の見えない介護を誰にも言えず、将来を悲観して高齢者の殺害や無理心中に至ることも…。

(4) 消費者被害

判断能力の低下に乗じて健康食品、ふとん、住宅のリフォーム等多岐にわたります。悪徳業者には注意が必要です。

(5) 車の運転による事故

認知症に起因する事故で、枚挙に暇がありません…。



「認知症」の
受診、何科に行
けばいいの？

一般的には神経内科、精神科、心療内科、脳外科あるいは「もの忘れ外来」というような専門外来で診てもらえます。

迷ったときは、ふだんから診ていただいているかかりつけ医に相談して、紹介してもらっても良いでしょう。また、保健所の高齢者相談なども有ります。

こんな事に思い当たれば専門家に相談
～早期発見のめやす

認知症は、早く見つけて早く対応すれば、本人にとっても家族にとっても、それ以後の生活が大きく変わります。手遅れが一番危険です。

●もの忘れがひどい
●判断・理解力が衰える
●場所・時間がわからない
●人柄が変わる
●不安感が強い
●意欲がなくなる



■中核症状と周辺症状との差を区別しておこう！

“認知症”というとにかく過剰反応してしまう方が多々おられますが、一度冷静にその症状を分析してみたいはいかがでしょうか？皆さんが怖いのは何ですか？下記の図でいう**周辺症状（問題行動）**ではないでしょうか？中核症状は誰にも迷惑をかけません。

周辺症状BPSD（≒問題行動）	りぼんの会の取り組み
中核症状 ●記憶障害 ●見当識障害 ●判断力の障害 ●失語失認失行 ●不眠・睡眠障害 ●帰宅願望	●徘徊 ●異食 ← 温熱活性療法 ●妄想・せん妄 ← フィンガースポーツ ●暴言・暴力 ← フラハンド有酸素運動 ●幻覚・錯覚 ← ゲーゴルゲーム ●うつ・抑うつ ← 回想カラオケ ●失禁・弄便 ← ユマニチュード対応 (Humanitude)

こんな周辺症状を緩和させ、穏やかな老後をご過ごしたいのはむしろご本人ではないでしょうか。誰も好き好んでトラブルを起こしたくはないのです。

その周辺症状の緩和のために有益な方法はいろいろありますが、副作用の弊害を併せ持つ薬に頼らず考えたいものです。

■せっかくの大切な時間をデイで過ごすのなら…

認知症になってまともな会話もできなくなると、家族はレスパイトを求めようになります。デイサービスにでも行ってもらって、介護の世話から逃れたいのです。

でも、認知症を症状として捉えたとき、改善によって穏やかな良いご高齢者になれば、家族とのコミュニケーションも取れて皆がハッピーになります。

そこに「認知症の完治」を求める必要が果たしてあるのでしょうか？（もちろん治ればそれに越したことはありませんが。）

そのために私たちが大切にしているのは、次のような事です。

- (1) 本人の気持ちが落ち着くこと
- (2) 家族の一員として受け入れられること
- (3) 尊厳のある一個人として認めること

“デイサービスりぼん花影町”に来られている認知症ご高齢者の皆さんは、しっかりと結果を出されているのです。



**心身機能活性
温熱療法を、
毎回一対一で
提供させていただきます。**

りぼん花影町では、左に列記した、心身機能向上のために有益な運動プログラムを実施しています。

デイでは、明るくて優しいスタッフの指導のもと、楽しみながら一日がアツという間に過ぎていきます。

そして、2～3ヶ月後には、元気で明るくなって、見違えるように生まれ変わったあなたそこにいます。

プラズマローゲン

★九州大学名誉教授、**藤野武彦先生**が研究し製品化したプラズマローゲンは認知症を治すサプリーとして画期的な成果を挙げています。

TBS テレビ・夢の扉+で放映された、「認知症への挑戦」を記録したDVDがあります。

興味のある方はお問い合わせ下さい。



☑️ デイサービスりぼん花影町

☎️ 079-290-5184

姫路市花影町4丁目9番地クラウンズビル花影1F

[運営]株式会社ナカイ総合事務所

